

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.174

2020. 3. 30  
発行：平和憲法・9条をまもる  
岩手の会 実務者会議  
連絡先 県生協連・県消団連  
TEL 019-684-2225  
FAX 019-684-2227

## 「改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組みましょう！

今回の署名は、「改憲発議に反対し、9条を生かした社会を求める」請願内容で、今までの署名とは違うものです。これまで9条署名や3,000万署名に協力してくれた方々にも、「9条を守るための新しい署名です」と、あらためて協力を呼びかけましょう！新型コロナウイルスの影響はありますが、各9条の会では参加や行動を縮小しながら、できる範囲で「改憲発議を許すな！」と署名や宣伝行動を県内各地で取り組んでいます。



### ◇河南9条の会・城東9条の会ほか

2月19日バスを待つ方や道行く方々に、署名のよびかけと一緒に、「改憲に反対か賛成か」シール投票も実施しました。結果は9割以上が「改憲に反対」という結果でした。



### ◇岩手の会「9の日」行動

盛岡市大通で毎月実施していますが、3月9日は若者も多く、「9条が変更されれば、真っ先にあなたたちが戦争に駆り出される」ことを訴えると、署名に参加してくれました。また、わざわざ車を停めて「安倍首相は無責任。9条も変えない方がいい」と署名してくれる方もいて、参加メンバー全員が元気をもらいました。

### ◇都南9条の会

サンフレッシュ都南で、毎月19日に署名行動を実施。1月は37筆、2月は雪の中ということもあり17筆でしたが、署名を呼びかけると寄ってきてくれ、反応が良かったです。

### ◇釜石9条の会

1月はイオン前、2月はマルイチ前で署名を実施し、計70筆を集めました。小さいお子さん連れの若いご夫婦も多く、「子どもの将来を考えると今の政治では危ない」と署名に協力してくれました。毎週木曜日のスタンディングや、毎月19日中心にウォーキングデモもお昼に行っています。⇒⇒⇒



## 《事務局からお知らせ》署名や宣伝行動にご活用下さい

◇全国市民アクション作成の横断幕・のぼりなどの宣伝セット（送料別・1セット2,000円）を、岩手の会事務局でも取り寄せました。セット料金のみ送料分なしでお譲りします。

また、無料貸し出しもしますので、ご相談下さい。

◇カラーA5判リーフレットも用意しました。⇒⇒⇒

署名用紙（白黒）も含め、必要枚数をお知らせ下さい。

「改憲発議に反対する全国緊急署名」の宣伝セットの紹介。左側には「9条が戦争の憲法になってきた」という統計グラフがあり、右側には「私たちとともに」という署名者の写真と名前が掲載されている。

**4月の署名活動9日(木)12:15~12:45 盛岡市大通・野村證券前** ※雨天中止  
多くの国民が反対の声を上げている中、安倍首相は改憲を進めようとしています。「安倍9条改憲NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけますので、お誘い合わせの上、ご参加ください!

# 「安倍9条改憲NO! ひな祭りパレード」 —ピースアクションいわて—

女性5団体で構成するピースアクションいわて(新婦人の会、いわて労連女性部、いわて女性・九条の会、母親大会連絡会、岩商連女性協)は、今年こそ安倍政治にサヨナラしたいと、通常国会開会日から月1回のレッドアクションをスタートさせ、リーレートーク・スタンディングに取り組んでいます。3月3日には、今年で5回目となる「ひな祭りパレード」を行いました。新型コロナウイルス問題で外出を控えた影響もあってか40人程の参加でしたが、雨の中を「主権は国民! 声を聴け!」「安倍はいらぬ! さっさと退陣!」と元気に声を響かせアピールしました。

引き続き、4月16日(木)、5月21日(木)に、盛岡地方裁判所前でスタンディングを予定しています。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください!(渋谷靖子)



## お知らせ “日本国憲法は希望” 著者・白神優理子弁護士来盛!



### 5・3 憲法集会 in いわて

**5月3日(祝・日) 10:15~12:15 岩手教育会館2階多目的ホール**

10:15~ ひらやまよりこさんアルパ演奏 ◇集会後はピースパレード実施

主催: 安倍9条改憲NO! 全国市民アクション岩手の会

※集会は、内容の変更または中止の場合があります。幹事団体へのお問い合わせや、岩手県生協連ホームページ↓などでご確認ください。

(<http://iwate.kenren-coop.jp/index.html>)

## 「第10回 9条の会東北交流会 in 山形」 参加締切/4月24日

**5月16日(土) 13:00~16:30 山形ビッグウイング(山形国際交流プラザ)**

内容: 「3,000万署名の経験から、草の根の運動で改憲発議に反対する全国緊急署名をどう進めるか」を中心テーマに、山内敏弘氏(一橋大学名誉教授、九条の会世話人)の基調講演「安倍改憲の危険性—なぜ安部改憲を阻止しなければならないか」、各県・首長の会からの取り組み報告と交流を予定。

※交流会は、内容の変更または中止の場合があります。

事務局(岩手県生協連)までお問い合わせ下さい。

## コラム = 再び戦争する国になる「憲法改正」が自民党の改めての本音! =

去る3月13日、国会で新型インフルエンザ等特別措置法改正案が可決・成立。その注目点は「緊急事態宣言の発令」だろう。国民は新型コロナウイルス感染拡大防止のためにも、緊急事態宣言が可能になったと受け止めていただろうと思う。

しかし、自民党内では伊吹元衆議院議長の「これは憲法改正の実験台だ」などの、同「改正案」への悪乗り、煽り発言がある。憲法改正論側には、議論のテクニックから改憲の一転突破のため様々な形の改正論があるが、その根っこである自民党の「憲法改正草案」が示すように、どの憲法改正論も日本が「再び戦争する国になる」憲法改正が本音であることを、この度みられる「煽り発言」は改めて示しているのではないかと。

自民党を始めとする「憲法改正論」の運動は、極めて多面的で執拗でもある。「改憲発議に反対する全国緊急署名」運動を始め、日本国憲法を擁護する運動でも「多面的に執拗に」擁護運動をすすめるべきではないと思う。